

富士南麓における森林の復元活動

－ 2010年の活動報告・2011年活動計画 －

自然再生活動部会／中村華子

当クラブでは2003年から、関東森林管理局静岡森林管理署と「山の自然学クラブ・富士山森の復元活動」という協定を締結して、富士山の国有林で森林復元活動を行っています。2008年6月に5年協定の2期目に入りました。活動当初に比べると植生の遷移が進み、群落全体もずいぶん大きくなり、活動の成果を実感できるようになってまいりました。

これからは、ツタが木を覆ってしまったり、ササが林床に増え過ぎたりしないように現地を継続的に観察するとともに、植栽する樹種をさらに増やすこと、補植の場所を細かく計画することなど、よりきめ細かく高度な管理を進めていきたいと考えております。

また各種団体の植樹活動・ボランティア活動の受け入れや環境教育への協力も進め、今後も活動の裾野を広げたいと思います。国有林の協議会への参加も継続し、関係諸団体と連携を取りながら地域全体を見つめた活動を進めていきます。

2010年の活動報告と2011年の活動計画について報告いたします。

協定林について

場所：富士山国有林200林班 た小班4.56 ha

協定活動内容：「観察・記録・刈り出しなどの手入れを行い、従来の富士山の植生への復元・最善の育林方法の実施を目的とする行動」
「環境教育を目的とした活動」

協定期間：2008年6月－2013年6月（2008年に更新し、2期目）

2010年度活動実績（年間詳細は次頁に掲載）

活動日数 のべ16日間

参加者数 210人 うち会員35人 非会員175人

植栽（補植）した苗の本数 2010年の活動では ブナ（実生苗）30本、

ミズナラ（実生苗）50本、その他広葉樹（山取苗、実生苗）370本を植栽しました

採取した種子の種類 2010年には アブラチャン、イタヤカエデ、ウリハダカエデ、エゴノキ、オトコヨウゾメ、カジカエデ、ガマズミ、クロビイタヤ、カマツカ、ゴマギ、ツリバナ、ナナカマド、ニシキウツギ、ニシキギ、ハウチワカエデ、マメザクラ、マユミ、ミズキ、ミツバウツギ、ミネカエデ、ミヤマイボタ、ミヤマガマズミ、ムラサキシキブ、ヤマボウシ、ヤマモミジ 以上25種を採取しました。

現地や会員宅、東京農業大学などで育苗し、現地に順次戻していく予定です。

他団体の活動受入実績と予定

<2010年度受入実績・2011年度受入予定>

・NTT労働組合東日本総支部の社会貢献活動

組合員が参加する社会貢献活動の一環として自然保護活動を企画。2006年にボランティ

ア推進委員で試行的に実施、2007年以降支部全体の行事として正式に受け入れています。2009年からは従来よりも規模を拡大して実施しており、2010年は4月24日に家族連れを含む82名が参加して植樹活動と観察会を実施（インタープリターの報告参照）。

2011年も今年と同程度の規模で受け入れできるよう準備します。

・曹洞宗静岡県第一宗務所青年会

青年会のボランティア活動として富士山での植樹を行いました。2010年7月10日に幹事役の皆さんを案内し、作業内容の検討を行いました。10月2日には青年会の皆さん18名が参加して、低木の密度調整と下刈り、空いたスペースへの広葉樹補植をする活動を実施。

今後は個人での参加や各地での協力も含めて関係を継続したいと思います。

・俳誌“若葉”記念植樹

昭和3年に富安風生により創刊された俳誌「若葉」の通巻1000号にむけた記念事業の一環として富士山での植樹、自然観察会等を希望。2011年5月28日、29日に最初の受け入れを予定しています。

《2010年活動報告詳細》

日程	開催形態・作業内容	参加人数	内訳	
			会員	一般
3月6日	協議会総会に参加／富士市総合庁舎にて	2	1	1
3月31日	NTT 打合せ／NTT 東日本本社にて	1	1	0
4月4日	自然再生活動部会打合せ・作業 ・4月24日植樹の準備、観察会ルートの決定・下見	3	2	1
4月24-25日	<山の自然学現地講座> ・実生苗、山取苗を補植 ブナ:30本 ミズナラ:50本 その他広葉樹:170本 ・自然観察会(グリーンキャンプ場) インプリ活動 NTT 労組東日本総支部のボランティア活動・自然観察会 82名	102	6	96
5月29日	協議会研修会、シカ食害対策検討会	2	1	1
6月19日	自然再生活動部会打合せ・作業 ・マメザクラの種採り	4	2	2
6月20日	協議会 現況調査の委員会	2	1	1
7月10日	自然再生活動部会打合せ・作業 ・10月2日植樹の手順、場所検討 及び植栽の準備	7	1	6
7月31日 -8月1日	自然再生活動部会作業 ・ススキ・低木の下刈り、ツル切り作業	17	9	8
10月2-3日	自然再生活動部会作業 ・ススキ・低木の下刈り、ツル切り ・下刈り箇所へ山取苗等を補植 200本(広葉樹) ・種子採取 曹洞宗静岡県第一宗務所青年会のボランティア活動 18名	30	4	26
10月 23-24日	自然再生活動部会作業 ・種子採取 東京農業大学:福永先生+院生2名+学生15名参加 若葉(俳句の会) 来年度以降の植樹の下見・検討会 柿田川守る会・種子採取の見学と評価の打合せ	38	6	32
11月13日	協議会 現況調査の委員会	2	1	1
	参加人数 合計	210	35	175

《2011年活動計画》 ※詳しい日程は未定です

これまでに引き続き、季節に応じて年数回の現地講座と、1-2ヶ月に一度程度の部会活動を予定しています。現地講座では会員以外の方に多く参加していただき、森林再生の活動とともに自然観察会なども行います。また、引き続き各種団体の受け入れを積極的に行っていきたいと思います。会員の皆様にご協力いただきこれまでいくつかの団体を受け入れてきておりますが、活動の裾野を広げ、社会的認知を広める意義のあることと考えます。また私たちにとっても、勉強になり、新鮮な気持ちになれる、いい機会であると考えております。今後も会員各位のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

<年間の主な活動内容>

- ・春前 - 芽生えの前に現地へ苗を持っていきます。冬期に荒れた林地の整備と地拵え
- ・春 - 植栽適期です。補植、挿し木などを中心に行います
5月28-29日 俳誌若葉のみなさんと自然観察会・植樹の予定
- ・盛夏 - 梅雨明けからススキ、ササが一気に伸びますので、下刈りを行います
- ・秋 - 種子採取、山取苗の採集

森づくりの活動評価について ~富士山国有林森づくり連絡協議会での活動

当会の活動地はもともと、1996年9月の台風17号により人工のヒノキ林が被害を受けた後、広葉樹林を再生しようとしている場所です。富士山国有林では他にも同様の活動をしている団体がいくつもありますが、それらの団体により「富士山国有林森づくり連絡協議会」がつくられ、当会も参加しています。活動を始めて10年が過ぎ、自然の森への育成について、活動の現状を評価することはできないか、という声が出てきています。2011年度からは連絡協議会の構成団体が協力して現状調査を行うことができるかもしれません。日本の森林は多様性が高く、広葉樹造林の成果を評価することは困難ですが、富士山国有林全体での復元状況が少し分かる可能性もあります。

活動の際にお話しているとおり、天然林を目指しているということは(1) 自立した森林を最終目標に、(2) 多様性を高めながら、(3) 遷移を進めること が、当面の活動内容となります。私たち山の自然学クラブの森林復元活動ではこれまで通り「自然のしくみに学び、より自然のプロセスに近く、より人間の関与を少なく」を活動の指針にしていきます。

これまでもこの方針に従ってみなさまにご協力頂いているところでありますが、これからもより一層、楽しく有意義な活動になるように進めたいと考えております。

Yahoo!ボランティアの寄付増加にご協力お願いします

2007年度からYahoo!の「インターネット募金」に採用いただきました。下記のサイトで富士山森林復元活動への募金を掲載しています。引き続きご協力をお願いします。

<http://volunteer.yahoo.co.jp/donation/index.html>

** 東京農業大学からの協力について **

この活動で採取した種子の多くを、東京農業大学 治山・緑化学研究室にて精選・管理・保存して下さっています。植栽用の苗木育成も一部お願いしております。そのほか、会の活動全般に関して様々な面でサポートを頂いております。福永先生をはじめとする研究室の皆様の多大なるご協力をここに記し、深く感謝申し上げます。